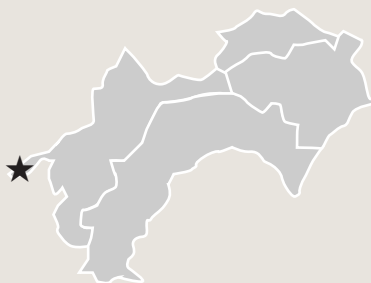




## 愛媛県立三崎高等学校





愛媛県立三崎高等学校は、四国西端の佐田岬の先端、伊方町にある県立高校であり、県庁所在地の松山市からはクルマで2時間と少し、伊方町役場からは30分ほどの距離にある。

豊かな自然に恵まれており、調査員が訪問した6月下旬には、海は真っ青で透明度が高く、山は緑に染まっていた。

昭和25年度の開設で令和元年で69周年を迎えた。全校生徒は84名（令和元年）で、生徒数減少のため本校の位置づけから分校への高校再編の危機にある。

しかし、同校は少人数だからこそその「個別最適化された学び」を行うことができ、一人一人の生徒が輝くことができると自負している。

高校の地元の旧三崎町にはいくつかの元気なNPOがあり、NPO関係者からの強力な支援を得ている。



特色ある教育



みきゃんブイアート



マーマレードアワードに出品

平成 29 年度は愛媛県の「地域に生き地域とともに歩む高校生育成事業」の指定を受けるなど、生徒は地元の祭りの支援、イベントの支援、ボランティア活動を積極的に行っている。

特色のある教育活動としては、生の蜜柑を包んだ「みっちゃん大福」の開発と販売、漂流ブイを活用した「ブイアート」プロジェクトの実行、さまざまな高校、大学、NPO、役場職員などが参加した「せんたんミーティング」の開催、健康体操（「みさこう体操 115」）の考案と施設・イベントでの普及活動、映画『せんたんビギンズ』の作成と上映など、多岐にわたっている。

これらの活動の中心になっているのが、今回インタビューした高校生たちが参加する「せんたん部」である。



## 地域人材育成研究 第1号